

平成19年2月8日
東京電力株式会社
柏崎刈羽原子力発電所

2月所長会見における千野所長挨拶内容

まずは、先週報告したとおり、復水器出口海水温度データの改ざんに加えて、過去に法定検査などに不正行為や改ざん事例があったことを確認いたしました。地域の皆さまには多大なご迷惑とご心配を重ねておかけすることとなり、改めて深くお詫び申し上げます。

本日は2点申し上げます。まずは、改ざん問題の調査状況についてです。

現在、3つの項目について調査を行っています。1つ目は、前回の総点検で確認できなかった原因の究明です。当発電所では、原子力不祥事以降、信頼回復のために企業倫理を遵守した業務運営の実践・定着に取り組むとともに総点検を実施しました。しかしながら、今回のような問題を4年前の総点検で確認できなかったことはとても残念なことであり、私としては大変申し訳なく思っています。

前回の総点検で確認できなかった原因については、先週、経済産業省から3月1日までに報告するよう指示を受けました。当社としては、原子力検討会の下に新たに「H14 総点検検証チーム」を設置し、前回と今回の点検範囲や方法の比較を行うことで、前回摘出できなかった理由を調査するとともに、今回報告することができた理由などを整理して、組織・企業風土の観点からその要因を分析する予定です。

2つ目は、新たに確認された7件の不正・改ざん行為についての事実関係、原因究明および再発防止対策についてです。こちらは、3月1日までの報告に向けて、現在、関係者への聞き取り調査などを実施しているところです。

3つ目は、同様な問題がないかの調査です。これは、昨年末に公表した総点検計画に沿って、3月31日に向けて調査をしているところです。

先週には、新潟県・柏崎市・刈羽村が原災法32条の立ち入りに加えて、安全協定に則った状況確認に来所され、私どもとしては誠心誠意対応し、質問にも包み隠さず回答いたしました。当日の評価は、来週開催される技術委員会でご議論いただくことになっておりますので、私どもとしては、委員会の先生方に対しても誠実に対応させていただきたく所存です。

2点目は、耐震設計審査指針の改定に伴う地質調査についてです。

昨年12月の会見で、発電所敷地内も起震車による地下探査を実施すると申し上げましたが、詳細についてはお手許の資料にあるとおり、4月上旬頃に、発電所敷地内の1~7号機の山側を南北に縦断する形で約3kmの測線を調査することとしました。

昨年9月から10月にかけて調査したデータは、来月末までにまとめるよう現在分析中ですが、追加して実施する調査で得られるデータについても予断なく分析し、今年の秋頃には、総合的な地質調査結果をまとめたいと考えています。なお、当発

電所における耐震安全性評価については、全体のスケジュールを調整しながら、当初の予定どおり来年 12 月までに評価をまとめる予定です。

いずれにしても、この春に予定している定期的な地域への説明会では、昨年秋に実施した地質調査結果をご報告するとともに、追加調査を含めた今後の対応についてもご説明する所存です。

以 上

添付)

- 柏崎刈羽原子力発電所 D A T A ・ B O X
- プレス公表 (運転保守状況)

柏崎刈羽原子力発電所DATA・BOX(平成19年2月)

発電所運転状況

平成19年2月8日

プラント名	現在の 運転(発電)状況	前回定期検査	過去1年間の運転状況														補足説明
			3	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2			
1号機 110万kW (S60.9.18運開)	運転中	第14回 H17.6.14 ~ H18.5.30 停止期間 H17.6.14 ~ H18.4.30 (321日) (原子炉起動H18.4.26)	第14回定期検査による停止														[4号機] ・1月11日に営業運転再開。(お知らせ済み)
2号機 110万kW (H2.9.28運開)	運転中	第11回 H17.9.3 ~ H18.5.9 停止期間 H17.9.3 ~ H17.12.25 (114日) (原子炉起動H17.12.22)															
3号機 110万kW (H5.8.11運開)	運転中	第9回 H18.5.12 ~ H18.9.15 停止期間 H18.5.12 ~ H18.7.27 (77日) (原子炉起動H18.7.24)	第9回定期検査による停止														
4号機 110万kW (H6.8.11運開)	運転中	第9回 H18.4.9 ~ H19.1.11 停止期間 H18.4.9 ~ H18.12.14 (250日) (原子炉起動H17.12.11)	第9回定期検査による停止														
5号機 110万kW (H2.4.10運開)	第12回定期検査中 停止期間:H18.11.24 ~	第11回 H17.7.4 ~ H17.11.2 停止期間 H17.7.4 ~ H17.10.8 (97日) (原子炉起動H17.10.8)	第12回定期検査による停止														
6号機 135.6万kW (H8.11.7運開)	運転中	第7回 H17.12.10 ~ H18.5.12 停止期間 H17.12.10 ~ H18.4.13 (125日) (原子炉起動H18.4.10)	第7回定期検査による停止														
7号機 135.6万kW (H9.7.2運開)	運転中	第7回 H18.8.23 ~ H19.1.11 停止期間 H18.8.23 ~ H18.12.5 (105日) (原子炉起動H18.12.2)	第7回定期検査による停止														

プラント名欄に記載してある出力は「定格電気出力」

発電所設備利用率 (%) (1月末現在)	
1月	88.4%
18年度累計	75.8%
運転開始後累計	77.2%

発電所発電電力量(万kWh) (1月末現在)	
1月	540,353
18年度累計	4,572,116
運転開始後累計	78,106,786

ドラム缶発生量(本) (H18年度第3四半期)	
当期発生本数	649
貯蔵庫累積貯蔵本数	20,973
貯蔵庫保管容量	30,000

使用済燃料貯蔵体数(体) (H18年度第3四半期)	
使用済燃料貯蔵プール貯蔵体数	12,008
使用済燃料貯蔵プール管理容量	16,915
使用済燃料貯蔵プール貯蔵容量	22,479

構内従業員データ(人) (2月1日現在)				
県内	東京電力	777	2,459	59%
	刈羽村	73	264	6%
	その他	77	653	13%
	小計	927	3,376	78%
県外		109	1,094	22%
合計		1,036	4,470	-
		5,506		100%
協力企業社数(社)		563		

「比率」について端数処理の関係で数値と計が合わない場合がある。

来客情報(人) (1月末現在)		
	1月	年度累計
地元	960	14,110
県内	1,183	19,835
県外	378	28,519
国外	40	426
合計	2,561	62,890

今後の主なスケジュール

予定日	内容
2月18日	バルーンアート教室(カムフィ-)
2月24・25日	サービスホールde演芸会
2月25日	東京電力 ミュージックライブ アット カムフィー(カムフィ-)
3月8日	次回定例所長会見予定
3月11日	似顔絵ペインティング(カムフィ-)
3月15日	ボディ-メ-キングヨ-ガ(カムフィ-)
3月17日	雪割草まつり(き・な・せ)
3月24・25日	花と緑のふれあいまつり(サービスホール)
3月30・31日	第123回名画鑑賞会(柏崎エネルギーホール)

インターネットホームページアドレス
<http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/index-j.html>

東京電力株式会社
 柏崎刈羽原子力発電所
 広報部
 0257-45-3131(代)

プレス公表（運転保守状況）

No.	お知らせ日	号機	件名	内容
	1月12日	5号機	原子炉建屋付属棟（非管理区域）でのけが人の発生について（区分）	- （前回お知らせ文） http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/19011201.pdf
	1月22日	2号機	原子炉建屋付属棟でのけが人の発生について（区分）	- （前回お知らせ文） http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/19012203.pdf
	1月22日	5号機	原子炉建屋でのけが人の発生について（区分）	- （前回お知らせ文） http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/19012202.pdf
	2月5日 2月6日	6号機	制御棒駆動系（1本）の不具合について（区分）	<ul style="list-style-type: none"> ・2月4日午後10時30分頃から運転中の定例試験（制御棒駆動系挿入・引抜き試験）を行っていたところ、1本の制御棒（全制御棒は205本）が動作しないことを確認。同日午後11時4分、保安規定に定める「運転上の制限」からの逸脱を宣言した。 ・当該制御棒以外の全制御棒（204本）について挿入・引抜きが可能であることを確認したことから、プラントを安全に停止する機能は確保されており、プラントの安全上の問題はない。 ・調査の結果、原因は制御基板の一部の故障によるものと判明したため、当該基板を交換し、2月6日午前11時、「運転上の制限」を満足していることを確認。当該制御棒については、挿入・引抜きの動作確認を行い、健全性を確認した。 <p>（前回お知らせ文） http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/19020501.pdf http://www.tepco.co.jp/nu/kk-np/press_kk/2006/pdf/19020601.pdf</p>